

価値創造のための重要な経営資本

朝日工業社グループは、創業以来100年近い歴史のなかで価値を生み出す源泉となる経営資本を積みあげてきました。これらの経営資本はビジネスモデルと成長戦略の原動力となり、サステナビリティの実現や新たな成長機会の創出、そして企業理念の実現へとつながっていきます。

重要な経営資本	主な資本の数値	経営資本を活用して目指す姿と課題
 <h2>人的資本</h2>	連結従業員数 987 名 主な資格者数／ 建築設備士 139 名 1級管工事施工管理技士 519 名	朝日工業社グループは「人こそが最大の財産」と考えています。人間尊重の経営をもとに、社員一人ひとりの個性、意欲、創意、夢、心を大切に、社員が生き生きと働くことができる「働きがいのある職場」づくりに努めるとともに、社員が自ら能力を磨き、挑戦する環境を整えることで多様な人材が最大限に能力を発揮できる人的資本経営を実現します。 課題 <ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の確保と育成、活躍 短期 中長期 社員の健康増進と働きがいの最大化 中長期 関連頁 第18次中期経営計画の進捗 P19~20 従業員とともに P55~60 財務・非財務ハイライト P7~8
 <h2>社会・関係資本</h2>	累計施工件数(1973年以来) 約 180,000 件 朝日工業社安全衛生協会 会員企業数 約 1,100 社	朝日工業社グループは長年にわたる事業活動によってお客さま、協力会社、大学・研究機関など多種多様なステークホルダー、パートナーと信頼関係を築いてきました。これらの強固な関係性は、価値創造において非常に大きな強みであり、既存の設備工事業、機器製造販売事業の拡大と新たなビジネスの創出とともにチャレンジして、繁栄することを目指します。 課題 <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーとの連携強化 中長期 新たなビジネスの創出と課題解決 中長期 関連頁 お客さまのために P49~52 ビジネスパートナーとともに P53~54 研究開発 P31~34
 <h2>製造資本</h2>	国内事業店・営業所 38 カ所 機器製造・技術開発拠点 各 1 カ所 海外拠点 2 カ所	お客さまに安全で高品質な設備、機器を安定的に提供し続けることは、朝日工業社グループの最低限の使命です。国内外に展開する設備工事業の拠点と機器製造・技術開発拠点が連携し、求められるニーズに「オール朝日」で、スピード感をもって対応することで、提供価値のさらなる向上を目指します。 課題 <ul style="list-style-type: none"> 工事業、機器製造・技術開発拠点の連携強化 短期 関連頁 ビジネスモデルと強み P23~24 会社概要 事業所一覧 P80
 <h2>財務資本</h2>	自己資本 38,756 百万円 自己資本比率 46.1 % 戦略的投資累計額* 約 70 億円 <small>*第18次中期経営計画期間、3年間の合計予定額です</small>	安定的な財務基盤は、朝日工業社グループがステークホルダーとともに繁栄するうえで欠かせません。資本効率の追求と財務健全性の維持向上とのバランスの最適化に取り組みながら、新たな成長機会の創出に向けて戦略的な投資を実施します。 課題 <ul style="list-style-type: none"> 資本効率の改善 中長期 新たな成長機会創出のための戦略的な投資 中長期 関連頁 第18次中期経営計画の進捗 P19~20 財務・非財務ハイライト P7~8
 <h2>知的資本</h2>	特許件数 186 件 研究開発費 201 百万円	「空気・水・熱」の科学に基づく高度な技術、ノウハウは価値創造における重要な経営資本です。省エネ・脱炭素をはじめとした市場トレンドに対応した知的財産権を積極的に取得することで、朝日工業社グループの競争優位性の確保を図ります。 課題 <ul style="list-style-type: none"> 研究開発基盤の強化 短期 省エネ・脱炭素に関わる技術・製品開発 中長期 関連頁 第18次中期経営計画の進捗 P19~20 研究開発 P31~34 特集 P35~38
 <h2>自然資本</h2>	エネルギー消費量(原油換算総量) 1,175 KL 二酸化炭素排出量／ スコープ1・2 2,391 t-CO ₂ スコープ3 1,405,780 t-CO ₂	地球環境に優しい省エネ設備、システムの提案・施工、省エネ機器の製造販売などを行う朝日工業社グループの事業そのものがサステナビリティと大きななかかわりを持ちますが、当社自身がサステナビリティ経営を実現できなくては、ステークホルダーからの信頼を失うことになります。企業価値を高め、価値創造のためのサステナビリティ経営を推進していきます。 課題 <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの導入によるエネルギー使用量の低減 短期 サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量の把握と分析 中長期 関連頁 朝日工業社グループのサステナビリティ P39~44 環境マネジメントと気候変動への対応 P45~48

主な資本の数値は、2024年3月31日時点の数値を用いています

短期 3年以内に解決を目指す課題 **中長期** 5年~10年以内に解決を目指す課題